

# 神奈川 私学保連

# NEWS



新年度を迎え、ご子息・ご息女が私立学校にご入学された保護者の皆さまに、心よりお祝い申し上げます。また、在校生の保護者の皆さまには、日頃より本連合会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本連合会は、神奈川県内私立小中高及び中等教育学校87校の保護者会が加盟し、子どもたちの教育環境の充実を目的に活動しております。各校が建学の精神のもと特色ある教育を行えるよう、その土台となる教育環境の整備が重要です。とりわけ、学校運営を支える経常経費の補助額の充実・拡充は、神奈川私学に通の課題であり、学校と保護者が両輪となって行政へ働きかけていく必要があります。

その成果として、高校については、昨年度、全国で見て最下位のレベルから29位まで改善をしました。本年度(2026年度)はさらに向上する見込みです。また、中学校についても、本年度は最下位レベルから脱する見通しです。これも関係者の皆さまの長年のご努力の賜物であり、深く敬意と感謝を申し上げます。こ



神奈川県私学保護者会連合会 会長 加賀美 博之

## 私学保護者会連合会の 2026年度の活動について

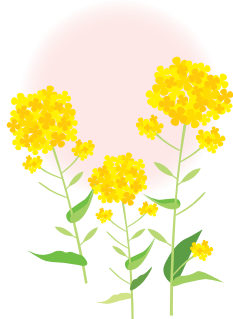
(聖光学院中学校高等学校 後援会副会長)

うした前進を確かなものとするためにも、引き続き粘り強く取り組んでまいります。

私自身、会長を務めて一年が経ちましたが、まだまだ不慣れな点も多く、皆さまに支えられながら学びを重ねております。今後も会員相互の連携を深め、本会の活動を着実に進めてまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ▼お知らせ

5月22日に神奈川県私学会館にて、定時総会を開催いたします。総会終了後は、「スマホ依存防止」をテーマとした講演会も予定しております。加盟校の代表者の皆さまには、大変お忙しい時期かと存じますが、ご出席のほどよろしくお願ひ申し上げます。



## 神奈川県私立中学校・ 高等学校振興大会

2025年11月17日(月)パシフィコ横浜  
参加876名

### 主催者あいさつ

一般財団法人 神奈川県私立中学高等学校協会

理事長 工藤 誠一

(聖光学院中学校高等学校 理事長・校長)



皆様、本日はご多忙のところこのように多くの神奈川私学の保護者の皆様、そして教職員の皆様にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また、公務で大変お忙しい中、神奈川県副知事首藤様をはじめ、国会議員、県会議員の先生方にもお越しいただいております。こうして皆様方が一堂に会し、本年度の神奈川県私立中学校・高等学校振興大会を開催することができました。主催者を代表し、心より御礼申し上げます。

まず初めに、県内私学の振興のため、日頃より多大なるご支援を賜っております。黒岩知事はもちろん、本日ご臨席賜りました首藤副知事、県子どもみらい局長、私学振興課長をはじめとする県行政の皆様にも、深く感謝申し上げます。特に今年度、県からの私学経常費補助につきまして、高等学校分野においては、長年全国最下位に位置してきた本県が、実に30年ぶりに最下位を脱し、29位へと前進することができました。これは、私学の

役割と現場の実情をご理解いただいたうえで、ご尽力賜った結果であり、本大会の場をお借りして、あらためて厚く御礼申し上げます。

一方で、中学校の経常費補助につきましましては、依然として全国ほぼ最下位にある厳しい状況が続いております。県内の多様な私学教育を維持・発展させるためには、中学校分野への支援の拡充も不可欠であります。次年度予算編成に向けた折衝におきましても、ぜひ本年度に引き続き、県知事ならびに行政関係者の皆様のお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

さて、神奈川県は「近代私学発祥の地」です。神奈川私学は県内私学の発展のため、さまざまな取組を重ねてまいりました。

まず、コロナ禍におきましては、教育現場の混乱を最小限に抑えるべく、県と連携し、私学関係者を対象としたワクチン接種を実施いたしました。速やかな接種により、学校での教育活動の継続に大きく寄与できたものと自負しております。

また、中学入試においては、コロナをきっかけに生徒の安全確保と受験機会の公平性を守るため、「共通追試制度」を協会として調整・実施し、体調不良等のやむを得ない事情が生じた生徒にも受験機会を確保いたしました。

教員確保の面では、特別免許状の取得支援を強化し、専門人材のスムーズな教育現場への参画を後押ししております。さらに、大学3年生の段階から教育インターン登録を促進する仕組みを整え、将来の教員志望者が早期に現場を体験し、成長できる環境づくりに取り組んでおります。

加えて、本協会が運営する「修学支援センター」では、不登校で悩む生徒の学習支援および居場所づくりを目的に、退職した元校長や経験豊富な教職員による個別学習支援、専門カウンセラーによ

る相談体制を整えております。日本全国の中で学習支援だけでなくカウンセリングを含めた不登校生徒のための体制があるのは、神奈川県の私学だけです。

さらに、私学ならではの特色ある教育として、国際交流事業も積極的に展開しております。本県と友好都市関係にあるアメリカ・メリーランド州立大学とのMOU（協力覚書）に基づく夏季語学研修および教員研修、また中国・遼寧省への高校生派遣事業は、参加生徒・教員に国際的視野を広げる貴重な体験を提供しております。

このように、神奈川私学は協会として、中高82の加盟校が一致協力して、その多様な建学の精神と教育理念のもと、地域社会における重要な教育の一翼を担い続けてまいりました。価値観が大きく変化し、グローバル化・デジタル化が進む現代において、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、未来を切り拓く力を育む私学の役割は、これまで以上に多様になり、ますます重要性を増しております。本大会を通じ、県内私学が直面する課題を共有し、子どもたちのため、そして本県の教育の未来のために、引き続き皆様方のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## 来賓あいさつ

神奈川副知事

### 首藤 健治様



神奈川副知事の首藤健治です。本日は、2025年度神奈川県私立中学校・高等学校振興大会が、盛大に開催されることを、心からお喜び申し上げます。

本来ならば、知事の黒岩が参りましてごあいさつ申し上げるべきところですが、どうしても外せない所用にてベトナムへ出かけておりまして、こちらに伺うことができません。知事からも、皆様にくれぐれもよろしく申し上げるようにと言付かってまいりました。

本日お集まりの皆様方には、日ごろから神奈川の教育の充実、発展に御尽力いただいていることに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

本県では、県内私学の振興を図るため、学校運営の経常費への補助について、各校の特色ある取組への補助の充実などに努めております。また、保護者の学費負担の軽減については、国の責任と財源により必要な措置を講じるべきであり、地域格差が生じることのないよう、国に強く要望してきました。その結果、令和7年2月に自由民主党、公明党、日本維新の会の3党により、いわゆる高校無償化が合意されました。令和8年度から、就学支援金の所得制限を撤廃し、私立高校に通う世帯に対する支援金の額を増額し、最大45万7千円を支給することが検討されております。来年度の本県の学費補助については、こうした国の動向を注視しながら、検討していきます。私学への支援の現状については、様々な御意見・御要望をいただいているところであり、神奈川県私立中学高等学校協会の皆様と協議しながら、今後も神奈川私学の振興のため、引き続き努力をしていきます。

さて、令和5年4月に施行された「こども基本法」においては、こども施策に対するこどもの意見反映の取組が義務化されるなど、当事者であるこどもの視点に立った施策を展開することが国及び地方公共団体において求められています。本県では「当事者の目線に立つ」という考えを大切にしており、こども目線に立った施策を推進し、いのち輝く社会を実現するため、昨年12月に「神奈

川県子ども目線の施策推進条例」を制定し、令和7年4月に施行しました。

また、2027年3月から9月にかけて、横浜市の旧上瀬谷通信施設において、国際園芸博覧会「GREEN×EXPO2027」が開催されます。この博覧会は、1都3県で初めて開催される万博であり、国内外から1千万人以上の来場者が見込まれています。ぜひ多くの皆様にご来場いただき、記憶に残る素晴らしい体験をしていただきたいと考えています。

おわりに、神奈川私学の益々の御発展と、皆様の一層の御活躍を心から祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

### 神奈川県議会副議長

## 谷口 かずふみ様



ただいまご紹介をいただきました。また、神奈川県議会副議長の谷口かずふみ様でございます。本日は、長田議長が所用のため出席できませんので、県議会を代表いたしました。お祝いの言葉を申し上げます。本日は、2025年度神奈川県私立中学校・高等学校振興大会が、かくも盛大に開催されましたことを心からお喜び申し上げます。そして、工藤理事長をはじめ、長年にわたり本県の学校教育の充実発展に熱意を持って取り組まれ、多大なご貢献をいただきました。皆様に、この場をお借りして深く敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

本県において、県内高校生徒では約37%、県内の児童・生徒全体では約24%が私立学校で学んでおり、私立学校の皆様には、神奈川の公教育の一翼を担う大きな役割を果たしていただいております。また、社会の国際化、高度情報化に伴い、ま

すます多様化する県民ニーズに 대응べく、私立学校では、それぞれの建学の精神に基づき、特色ある教育、個性豊かな活動が積極的に展開されています。

しかしながら、近年における少子化などの影響もあり、私立学校をめぐる経営環境は、大変厳しい状況が続いております。さらに、ベテラン教員の退職に伴うノウハウ継承の問題や、ICT環境の整備や耐震化等の学校施設整備の問題など、様々な課題が生じていると伺っており、学校現場はご苦労が多いことと存じます。そのような中で、皆様方のお力は、神奈川のみならず日本の将来の担い手となる子どもたちを育む大きな力でございますので、今後とも引き続き、尽力を賜りますようお願い申し上げます。

県議会といたしましても、私立学校の振興、次世代育成支援への取組を、県政における重要な課題のひとつとして、子どもたちが安心して学べる環境づくりにしてまいります。本日は、誠におめでとうございました。

### 神奈川県私学審議会会長代行

## 鈴木 ひでし様



神奈川県私立学校審議会会長代行、公明党の鈴木ひでしです。本日は、2025年度神奈川県私立中学校・高等学校振興大会が、盛大に開催されることを、心からお喜び申し上げます。

本県であれば会長の松田が出席し、皆様に直接ご挨拶申し上げます。本日は、公務の都合により出席が叶わなくなりました。本日は、松田会長の代行としてご挨拶させていただきます。

少子高齢化の急速な進行やいじめや不登校の増

加など、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。このような中において、神奈川県私立学校審議会は、私学に関する重要事項について、専門的な立場から審議しております。とりわけ、本年度においては県内初となる「義務教育学校」かつ「学びの多様な学校」の設置認可をはじめ、近年の教育課題や多様なニーズに対応した、新しい学びのあり方について闊達な議論がなされてきました。

さて、週末に目を通した新聞やテレビの報道、さらにはアメリカから帰国した友人の話や中々、あらためて強く感じたことがございます。それは、ICTとAIが想像を超えるスピードで進化し、教育の姿を根底から変えつつあるということです。

海外では、AIを用いた個別最適化学習がすでに日常的に教室へ入り込み、生徒一人ひとりの理解度に応じて教材が自動的に調整される学習環境が広がりにつつあるとの話もありました。国内でも、タブレット端末を活用した協働学習、AIDRILによる基礎学力の定着サポートなど、ICTとAIを活かした教育の実践が着実に進んでおります。そして、その推進の中心には、創意工夫を重ねながら教育の質向上に取り組みされている私学の皆様方がいらっしやいます。

一方、ICT・AIの活用をより深め、確かな学びに結び付けていくためには、学校現場の努力だけでは限界があります。行政による環境整備等の支援、保護者の皆様の理解、そして地域全体の支えがあつてこそ、子どもたちにとって最良の教育環境が実現します。本日の大会を契機として、神奈川の私学のさらなる発展と、未来を担う子どもたちにとってより良い教育環境を築いていくため、私自身、皆様と力を合わせて取り組んでまいります。

# 「保護者の願い」

神奈川県私学保護者会連合会

代表 山田 弥生

(サレジオ学院 保護者会顧問)



神奈川県知事黒岩祐治様をはじめ、国会並びに神奈川県議会の議員の皆様には、日頃から、私どもの子どもたちががが私立学校教育の振興発展にお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。

さて、現在、私立学校とそこに学ぶ子どもたちを取り巻く環境は、さまざまな課題を抱えております。そうした中で私どもが私立学校の保護者として切に望みますことは、何よりも「子どもたちが安心して学ぶことのできる、充実した教育環境の整備」でございます。

もとより、わが国の将来や神奈川県内の郷土発展のために、子どもたち一人ひとりが立派に成長し、社会の役割を担えるよう育てることは、私ども保護者の責任でございます。一方、私立学校の保護者として何よりも第一に望みますことは、子どもたちのそれ自身が自分の能力や希望に応じて、自ら選択した学校で特色ある充実した教育が受けられることでございます。

私ども保護者は、様々な学校の選択肢の中から、私学の独自の教育方針に賛同し、子どもに良かれと見え、私学に学ばせております。高校授業料の実質無償化については、今年度から所得制限が撤廃され、私立高校も支援が拡充されております。これにより、経済的な理由で進学を諦める生徒は減り、教育の機会均等が促進されることが期待されております。今後とも自由な学校選択が妨げられることのないよう、私立学校保護者への入学金を含めた学費負担の更なる軽減をお願いしたいと思います。

そして同時に、これまで以上に良い教育が受けられるために、私学への経常費助成の増額を望んでおります。私立学校に学ぶ子どもたちの教育環境を整備するためには、何よりも経常費補助が増額されることが必要不可欠なことと考えております。私立学校関係者並びに私ども保護者は、私立学校に学ぶ子どもたちの教育環境の一層の改善・充実と私立学校保護者の学費負担軽減のために、次の四点について速やかな実現を望みます。

- 一 私立中学校・高等学校・中等教育学校の経常費補助に対する補助率2分の1の継続と、補助単価の充実・増額
- 一 保護者負担教育費の公立と私立学校間の格差は正と負担の軽減
- 一 私立高等学校等の全施設の耐震化に向けた国公立学校と同等の財政支援の拡充と実施
- 一 教育のデジタル化に向けて、ICT環境の整備に必要な端末、周辺機器及び通信環境の整備・メンテナンス等の補助の拡充

以下はひらがなです。

## 参加議員紹介

### 国会議員・県会議員出席者(本人または代理)

#### (1) 国会議員(衆議院) 13名

氏名	党派	選挙区	備考
菅 義偉	自由民主党	神奈川2区 横浜市西区/南区/港南区	代理 電報
中西 健治	自由民主党	神奈川3区 横浜市 鶴見区/神奈川区	代理 電報
坂井 学	自由民主党	神奈川5区 横浜市 戸塚区/泉区	本人
古川 直季	自由民主党	神奈川6区 横浜市 保土ヶ谷/旭区	電報
鈴木 馨祐	自由民主党	神奈川7区 横浜市 港北区	代理 電報
三谷 英弘	自由民主党	神奈川8区 横浜市 青葉区/緑区	代理
田中 和徳	自由民主党	神奈川10区 川崎市 川崎区/幸区	本人
小泉 進次郎	自由民主党	神奈川11区 横須賀市/三浦市	電報
赤間 二郎	自由民主党	神奈川14区 相模原市 緑区/中央/愛甲	電報
牧島 かれん	自由民主党	神奈川18区 相模原市 緑区/中央/愛甲	電報
山際 大志郎	自由民主党	神奈川18区 川崎市 高津区/中原区	代理
草間 剛	自由民主党	神奈川19区 川崎市 宮前区 横浜市区 緑区	代理
沼崎 満子	公明党	比例南関東ブロック	代理

#### (2) 国会議員(参議院) 4名

氏名	党派	選挙区	備考
三原 じゅん子	自由民主党	神奈川選挙区	備考
浅尾 慶一郎	自由民主党	神奈川選挙区	代理
脇 雅昭	自由民主党	神奈川選挙区	本人
三浦 信祐	公明党	神奈川選挙区	代理

#### (3) 県会議員 21名

氏名	党派	選挙区	備考
梅沢 裕之	自由民主党	横浜市神奈川区	電報
加藤 元弥	自由民主党	横浜市西区	本人
新堀 史明	自由民主党	横浜市南区	電報
高橋 栄一郎	自由民主党	横浜市保土ヶ谷区	本人
新井 綱世	自由民主党	横浜市磯子区	本人
武田 翔	自由民主党	横浜市港北区	本人
松田 良昭	自由民主党	横浜市戸塚区	電報
田村 雄介	自由民主党	横浜市瀬谷区	本人
杉山 信雄	自由民主党	川崎市川崎区	本人
田中 徳一郎	自由民主党	川崎市幸区	本人
小林 武史	自由民主党	川崎市麻生区	本人
細谷 政幸	自由民主党	相模原市南区	電報
田中 洋次郎	自由民主党	横須賀市	本人 電報
永田 磨梨奈	自由民主党	鎌倉市	電報
市川 和広	自由民主党	藤沢市	電報
藤代 優也	自由民主党	大和市	本人
芥川 薫	自由民主党	座間市	本人
高橋 延幸	自由民主党	南足柄市・足柄下郡	本人
綱島 洋一	自由民主党	綾瀬市	本人
鈴木 秀志	自由民主党	横浜市鶴見区	本人
谷口 和史	公明党	大和市	本人

※敬称略

## 青少年育成研修会京都大会に参加して

2025年11月21日(金)

副会長 庄司 由紀

(横浜富士見丘学園中学校・高等学校 PTA顧問)



11月21日令和7年度青少年育成研修会(京都大会)に参加いたしました。第一部は京都府私立中学高等学校連合会会長の佐々井宏平先生による講演会を拝聴しました。

『全部本気』というお話にとっても引き込まれ、さらに全国にいる私学関係者は志を同じくした仲間だという決起集会のような勢いには集まった全国の皆様も拍手喝采。大変熱い講演会となりました。

第2部は西本願寺参拝拝観。国宝の御影堂から始まり、非公開の国宝飛雲閣、書院を宗務員の方の詳しい説明とともにじっくり拝観いたしました。国宝の唐門は絢爛豪華で桃山時代のものと言われています。豪華な様子を見てると日が暮れるのを忘れてしまい『日暮らし門』と呼ばれていたのがよくわかるとても美しい門でした。書院は数々のお部屋や、今も使用している能舞台、お庭など全てが感心する細やかな作りでした。私が一番魅了されたのは待合室として使われていた菊の間です。襖には菊、薄、萩などの秋の草花が咲き誇る庭の様子が描かれていて、待ち人が飽きないように、天井には241枚の扇が趣向を凝らして全面に描かれており、お部屋全体が煌びやかでした。西本願寺は全てが見応え十分で、あっとい間のお時間でした。この日の歴史体験は人生の学びとなる大変貴重な体験となりました。

# 令和8年度 私学助成の概要

令和8年度

私学助成につきましては、県の教育における私立学校の果たしている役割や県内約九十八万人の児童・生徒等の約四分の一に当たる約二十三万人が在学していることを踏まえ、

- ① 教育条件の維持向上
  - ② 児童生徒の修学上の経済的負担の軽減
  - ③ 学校運営の健全性の向上
- の三つを柱に様々な助成を行っています。
- 令和8年度の概要は次のとおりです。

## 一 当初予算編成方針

令和8年度当初予算は、「いのち輝くマグネット 神奈川」の実現に向けた予算として編成しました。子どもが健やかに育つ社会環境を整備するため、子ども・子育て支援の推進を図るほか、県内経済・産業の活性化のため、日産自動車生産縮小等への対応や、宇宙関連産業の振興等に取り組みます。

また、共生社会の実現に向け、地方独立行政法人神奈川県立福祉機構の設立等に取り組みほか、「災害に強いかながわ」の実現に向け、新たな神奈川県水防防災戦略等に基づき、災害対策を推進します。さらに、令和9年開催のGREEN×EXPO 2027に向けた取組を着実に進めるとともに、これを契機とした観光振興を推進します。

こうした取組を進めるに当たり、引き続き、デジタルの力を活用していくことで、県民の抱える不安を解消し、誰もが安心して暮らせるやさしい社会の実現を目指します。

## 二 一般会計

本県の令和8年度一般会計当初予算は、二兆三千七百五十九億六千九百万円で、前年度に比べ、千六百億四千五百万円、七・二%の増となっています。

## 三 私学振興費

私学振興費につきましては、総額約九百三十二億九千九百八十九万円で、前年度に比べ約二百三十四億四千六百八十二万円の増となっています。

大きな要因は、私立高等学校等の授業料補助の所得制限撤廃による授業料実質無償化の拡大や私立学校への経常費補助の増等によるものです。

## (一) 経常費補助

私立学校の経常的な経費に対する助成は、標準的運営方式と補助率を維持しており、四百五十四億六千五百九十二万円で、前年度に比べ、十二億八千六百六十三万円で、二・七%の増となっています。校種別では、**高等学校**は、二百五十三億六千八百八十万円で、前年度に比べ、五四%の増となっています。

**中等教育学校**は、八億七千九百五十万円で、前年度に比べ、四・二%の増となっています。

**中学校**は、七十九億四千五百十三万円で、前年度に比べ、十二・六%の増となっています。

**小学校**は、三十三億七千六百六万円で、前年度に比べ、十・八%の増となっています。

## (二) 高等学校等就学支援事業・生徒学費補助・奨学金給付金

家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、高等学校等就学支援金及び生徒学費補助により、家庭の教育費負担の軽減を図る事業で、予算額は、就学支援金と学費補助を合わせて、三百六十三億四千五百四十二万円で、前年度に比べ、百四十七・三%の増となっています。

学費補助においては、令和8年度から、所得制限を撤廃するとともに、県独自で上乗せを行い、県内平均授業料である四十八万円まで支援することで、授業料実質無償化を実現します。また、入金金について住民税所得割非課税世帯までの実質無償化を継続します。

その他、奨学金給付金について、対象を中所得世帯（年収四百九十万円程度）まで拡充しています。

## (三) 生徒学費緊急支援補助金

保護者の失職や倒産等により、家計が急変した児童・生徒の学費負担の影響を軽減するため、授業料を軽減した私立小・中学校等に補助するもので、予算額は、四千三百六十八万円となっています。

## (四) 私学団体助成費

私学保護者会連合会をはじめ私学団体が行っている教職員の資質向上やいじめ・暴力行為防止研修等

に対し補助するもので、予算額は、六百四十万円となっています。

## (五) 公立学校協調事業費

公立、私立の枠組みにとらわれず、公教育を担う公私の高等学校が協調を深め、それぞれの特色を生かしながら、共に向上できるように神奈川の高校展開催事業及び公私教員研修事業等を実施するもので、予算額は、三百三十一万円でとなっています。

## (六) 私立専門学校修学支援負担金

経済的理由で大学や専門学校での学びを断念することがないよう、学生に対して、授業料等の減免や奨学金の給付を行う「高等教育の修学支援新制度」について、県では、私立専門学校が実施する修学支援（授業料等減免）の費用を負担しており、予算額は、三十三億九千八百五十一万円でとなっています。

## (七) 私立高校生等留学促進事業費補助

高校生等の短期留学プログラムの参加に係る留学経費を補助するもので、予算額は、六百七十二万円となっています。

## (八) 私立高等学校等国際交流・留学プログラム構築推進事業費補助

国際交流や留学プログラムの構築を含めた環境整備を行う高校等に対して補助するもので予算額は千四百万円となっています。

## (九) 私立学校体育施設空調設備整備費補助

私立学校に通う児童・生徒の熱中症対策を促進するため、体育館の空調設備整備を実施する学校に対して補助するもので、予算額は四億九千五百万円となっています。

## (十) GREEN×EXPO 2027 校外学習支援事業費（私立分）

県内私立学校に在籍する子どもたちが、GREEN×EXPO 2027へ校外学習等で来場できるよう、支援を行うもので、予算額は、三千七百七十二万円となっています。

以上が令和8年度当初予算の主な内容です。今後とも、皆様の私学行政に対するご理解とご協力をよろしくお願いします。

令和8年度当初予算（案）私学振興費の概要

私学振興課

事業名等	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比較増減	前年度比	摘要																		
	千円	千円	千円	%																			
1 [ ]は内数 経常費補助	45,465,920	44,279,287	1,186,633	102.7																			
(1) 高等学校 [ 教育改革推進費 ]	25,368,811 [ 333,452 ]	24,059,117 [ 319,372 ]	1,309,694 [ 14,080 ]	105.4	教育条件の維持向上、修学上の経済的負担の軽減及び学校経営の健全性の向上を図るため、私立学校の経常的な経費や特色ある教育への取組に対して補助する。																		
(2) 中等教育学校 [ 教育改革推進費 ]	879,055 [ 19,168 ]	844,576 [ 11,508 ]	34,479 [ 7,660 ]	104.1																			
(3) 中学校 [ 教育改革推進費 ]	7,945,131 [ 187,032 ]	7,057,297 [ 187,508 ]	887,834 [ △476 ]	112.6																			
(4) 小学校 [ 教育改革推進費 ]	3,371,063 [ 90,840 ]	3,041,575 [ 88,280 ]	329,488 [ 2,560 ]	110.8																			
(5) 特別支援学校	727,812	642,856	84,956	113.2																			
(6) 幼稚園 [ 預かり保育推進費 ] [ 地域開放推進費 ]	5,060,531 [ 241,673 ] [ 110,400 ]	6,691,362 [ 248,022 ] [ 116,800 ]	△1,630,831 [ △6,349 ] [ △6,400 ]	75.6																			
(7) 専修・各種学校 [ 高等課程 ] [ 専門課程 ] [ 一般課程・各種学校 ]	2,113,517 [ 365,768 ] [ 1,747,749 ] [ 0 ]	1,942,504 [ 344,607 ] [ 1,597,897 ] [ 0 ]	171,013 [ 21,161 ] [ 149,852 ] [ 0 ]	108.8																			
2 高等学校等就学支援事業費	33,951,143	9,715,853	24,235,290	349.4	家庭の状況にかかわらず、すべての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、私立高校生等に対して就学支援金を支給することにより、世帯の教育費負担を軽減する。																		
3 私立高等学校等生徒学費補助金	2,394,267	4,978,762	△2,584,495	48.1	私立高校生等に遡り家庭の負担を軽減するため、授業料補助の所得制限を撤廃し、授業料実質無償化の対象を拡大する。また、入学金について住民税非課税世帯までの実質無償化を継続する。																		
(1) 高等学校等	2,238,034	4,791,782	△2,553,748	46.7																			
(2) 専修学校高等課程	83,595	186,980	△103,385	44.7																			
(3) 事務費	72,638	0	72,638	皆増																			
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>令和7年度まで</p> <p>年収約750万円未満 (多子世帯は年収約910万円未満) の世帯を対象に授業料を実質無償化</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>令和8年度から</p> <p>所得制限なく 授業料を実質無償化</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>授業料補助</td> <td>入学料補助</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1 高等学校等就学支援金(国)</td> <td>2 学費補助金(県)</td> </tr> <tr> <td>「モデル世帯」 年収目安</td> <td>457,200円</td> <td>22,800円</td> </tr> <tr> <td>生活保護～ 住民税非課税世帯</td> <td></td> <td>212,000円 → 授業料 480,000円 入学金 212,000円</td> </tr> <tr> <td>270万円～ 750万円未満</td> <td></td> <td>100,000円 → 授業料 480,000円 入学金 100,000円</td> </tr> <tr> <td>750万円～</td> <td></td> <td>→ 授業料 480,000円</td> </tr> </table> <p>※モデル世帯…両親・高校生・中学生の4人家族で、両親の一方が給与所得者として働いている世帯</p> </div>							授業料補助	入学料補助		1 高等学校等就学支援金(国)	2 学費補助金(県)	「モデル世帯」 年収目安	457,200円	22,800円	生活保護～ 住民税非課税世帯		212,000円 → 授業料 480,000円 入学金 212,000円	270万円～ 750万円未満		100,000円 → 授業料 480,000円 入学金 100,000円	750万円～		→ 授業料 480,000円
	授業料補助	入学料補助																					
	1 高等学校等就学支援金(国)	2 学費補助金(県)																					
「モデル世帯」 年収目安	457,200円	22,800円																					
生活保護～ 住民税非課税世帯		212,000円 → 授業料 480,000円 入学金 212,000円																					
270万円～ 750万円未満		100,000円 → 授業料 480,000円 入学金 100,000円																					
750万円～		→ 授業料 480,000円																					
4 外国人学校生徒等学費補助金	170,703	167,933	2,770	101.6	外国人学校に通う子ども達が安心して学ぶことができるよう、所得に応じて学費負担の軽減を図るために補助する。																		
5 被災児童生徒等就学支援補助金	2,390	2,390	0	100.0	東日本大震災や大規模災害により被災した幼児児童生徒の授業料等減免措置を行った私立学校の設置者に対して補助する。																		
6 私立学校生徒学費緊急支援補助金	43,680	46,704	△3,024	93.5	保護者の失職や倒産等により、家計が急変した児童・生徒への影響を軽減するため、授業料を軽減した私立小・中学校に対して補助する。																		
7 私立高校生等奨学給付金事業費	1,157,009	628,108	528,901	184.2	年収約490万円未満世帯の私立高校生等に対し、授業料以外の教育費負担を軽減するため、奨学給付金を支給する。																		
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2">世帯区分</td> <td rowspan="2">年収270万円未満 生活保護世帯 住民税非課税世帯</td> <td colspan="2">令和8年度拡充部分</td> </tr> <tr> <td>年収270～380万円</td> <td>年収380～490万円</td> </tr> <tr> <td>生活保護世帯</td> <td>52,600円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上記以外の世帯</td> <td>全日制等</td> <td>50,670円</td> <td>38,000円</td> </tr> <tr> <td>通信制・専攻科</td> <td>17,370円</td> <td>13,030円</td> </tr> </table>						世帯区分	年収270万円未満 生活保護世帯 住民税非課税世帯	令和8年度拡充部分		年収270～380万円	年収380～490万円	生活保護世帯	52,600円			上記以外の世帯	全日制等	50,670円	38,000円	通信制・専攻科	17,370円	13,030円	
世帯区分	年収270万円未満 生活保護世帯 住民税非課税世帯	令和8年度拡充部分																					
		年収270～380万円	年収380～490万円																				
生活保護世帯	52,600円																						
上記以外の世帯	全日制等	50,670円	38,000円																				
	通信制・専攻科	17,370円	13,030円																				
8 私立学校教職員退職金制度補助金	993,107	969,383	23,724	102.4	私立学校教職員の福利厚生を支援するため、退職手当金給付財源の一部を補助する。																		
(1) 小・中・高等学校	528,188	502,184	26,004	105.2	・補助率 県 20/1000 ・補助率 県 14/1000 ・補助率 県 19/1000																		
(2) 幼稚園	391,896	391,574	322	100.1																			
(3) 専修・各種学校	73,023	75,625	△2,602	96.6																			
9 私学団体補助金	6,400	6,400	0	100.0	私立中学高等学校協会等7私学団体の教職員の資質向上やいじめ・暴力行為防止研修事業費の一部を補助する。																		
10 公私立学校協調事業費	3,320	3,300	20	100.6	公私立高等学校による協調事業を実施する。 ・神奈川の高校展事業 1,080千円 ・公私教員研修事業 40千円 ・仕事のまなび場事業 2,200千円																		
11 私立学校教職員等研修事業費	2,510	2,357	153	106.5	・幼稚園教員復帰等支援事業 1,870千円 ・私立学校教職員各種研修事業 640千円																		
12 私立学校グローバル教育推進事業費補助	6,700	6,700	0	100.0	グローバル教育を推進するため、メリーランド州立大学と連携して実施する語学派遣研修等を行う私立学校に対して補助する。																		
13 私立高校生等留学促進事業費補助	6,720	0	6,720	皆増	グローバル人材の育成及び国際交流活動の拡大を図るため、高校生等の短期留学プログラムの参加に係る留学経費を補助する。																		
14 私立高等学校等国際交流・留学プログラム構築推進事業費補助	14,000	0	14,000	皆増	国内外でグローバル視点をもって活躍する人材の育成に向けて、国際交流や留学プログラムの構築を含めた環境整備を行う高校等に対して補助する。																		
15 私立専門学校学修支援負担金	3,396,529	2,960,043	436,486	114.7	子育てに希望を持つことができる社会の実現のため、多子世帯や低所得世帯の私立専門学校生に対する高等教育の学修支援(授業料等減免)に要する経費の一部を負担する。																		
16 私立学校防犯対策強化事業費補助	0	100,000	△100,000	0.0	事業終了																		
17 私立学校体育施設空調設備整備費補助	495,000	0	495,000	皆増	私立小学校・中学校・高校等に通う児童・生徒の熱中症対策を促進するため、体育館の空調設備整備を実施する学校に対して補助する。																		
18 GREEN×EXPO2027 校外学習支援事業費(私立分)	37,710	0	37,710	皆増	県内私立学校に在籍する子どもたちが、GREEN×EXPO2027へ校外学習等で来場できるよう、支援を行う。																		
19 その他	5,152,784	5,985,858	△833,074	86.1																			
合計	93,299,892	69,853,078	23,446,814	133.6																			

# いじめ・暴力行為問題

## 対策協議会に参加して

2025年11月10日(月) 12月17日(水)

副会長 飯塚 昇

(横浜女学院中学校高等学校 PTA会長)



今年度も「いじめ・暴力行為問題対策協議会」が11月10日、12月17日の両日で開催されました。通算72回に当たる11月10日は、校長先生をはじめ、各校担当の先生方などの学校関係者、県私学振興課の担当の方、そして私たち保護者らが参加いたしました。はじめに県私学振興課の担当者から資料に基づき情報提供をしていただいた後、意見交換が行われました。各校現場での報告や対応方法についての相談など、熱心な会議となりました。その中で大変強く印象に残ったのが、事実把握から始まり事後の対応までの間の多方面への配慮など、各校の先生方がいじめ等の案件対応で大変苦慮されていることでした。県の担当者へ助言やアドバイスを求める場面も多く見られました。保護者としては普段、知ることの少ない学校側の苦労を垣間見た気がいたしました。

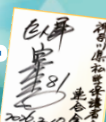
また、12月17日の会議では、講師の先生をお招きしてご講演をいただきました。『発達障害のある児童・生徒への支援について』という演題で、神奈川県発達障害支援センターかながわエースの飯山慶一先生にお話しいただきました。発達障害への理解不足による誤解など、普段私たちが知らないことや気付かないことを丁寧にお話ししてください、良き学びの機会を得ることができました。

# 保護連2月研修事業 講演会

●2026年2月10日(火)

『子ども達に伝えたい  
『あきらめない心』』

『野球人生から学んだ前向きな力』



読売巨人軍前投手コーチ  
読売ジャイアンツ女子チームGM兼監督

宮本 和知様

今回の2月研修事業は、読売巨人軍の元投手で、現在は読売巨人軍女子チーム監督を務めており、様々にご活躍されています。宮本和知様を講師にお迎えしました。

宮本様は、1985年にプロ野球・読売巨人軍に入団、ジャイアンツ一筋で13年間にわたり、左の投手として活躍されました。5度のリーグ優勝、2度の日本一に貢献され、3度の胴上げ投手になるなどジャイアンツファンならずとも強く印象に残る現役時代でした。

現在はアメリカでスポーツ心理学を学び、ライセンスを取得しメンタルトレーナーとして、選手の皆さま方の心の機微に触れ、指導者としても活躍されています。また野球、スポーツのみならず、これまでのご経験を活かした人材育成や、『野球から学ぶ人生論』のテーマで多数のご講演もなさっております。

今回の講演では、巨人軍の裏話も交えながら、ポジティブな視点での自分の体験談から子どもたちとの向き合い方をとても楽しくお話しいただきました。1時間余りの講演に、参加者の皆様方は終始笑顔で熱心に耳を傾けておられました。



ご参加の皆様方より寄せいただいた  
講演のご感想をいくつかご紹介いたします。

○宮本さんのお話は楽しく聞けて、共感もできました。子どもたちだけではなく、大人の世界の中でも大切なことを教えていただきました。自分の周りの子どもたちにもこういう先生がいてくれたらと願います。また機会があればお話しをお聞きしたいと思います。

○全てのお話、本当にためになるお話ばかりでテンポも良くずっと聞いていられるなと思いました。失敗を恐れずにチャレンジする、運をつかむには前を向いて進むこの2点がとても印象に残りました。宮本さんご自身の体験からのお話なので、信じてやればできる!という気持ちを持てました。

○質問の時間に、他校の保護者の方々の生の声が聞けたことも良かったです。

# 保護連2月研修事業講演会 感想

副会長 庄司 由紀

(横浜富士見丘学園中学校・高等学校 PTA顧問)



講演会当日、会場入りされる宮本和知様をお迎えをした途端に、緊張が一瞬で解けてしまうほどの前向きで明るい陽のオーラを感じ、その場においていた私共理事は全員魅了されてしまいました。講演会はいまだかつてない人数の方にお集まりいただき、テレビなどでのイメージ通りの明るく楽しいお話に参加者の皆様は前のめりに聞き入っていました。

講演内容は読売巨人軍エースとして活躍された一流のスピリットを感じるお話で、チャレンジすることの素晴らしさ、『失敗は失敗と言う結果が得られた成果であるので引く人生は歩みたくない』など今すぐ子供に伝えたい内容から、レジエント長嶋さんとのエピソードまで多岐にわたるものでした。

メンタルのお話ではネガティブからポジティブの順で話すなどの指導のコツや感情的に怒るのではなく相手を考えて叱ること、スポーツも会社も学校もどこでも単独ではなくチームで動くためスポーツを通して集団生活を教えたいということもお話いただきました。最後にはお時間いっぱいまで質疑応答にもご対応くださり、大変有意義で楽しい時間となりました。

## 私学振興全国大会

2025年11月5日(水)  
文京シビックホール

日本私立中学高等学校連合会と日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会との共催による私学振興全国大会が、今年も全国の私学関係者及び保護者約1700名の参加のもと開催されました。神奈川県からは各学校の保護連役員等も含め、約90名が参加しました。来賓挨拶、中高連からの要請、保護者の願いの後、次の3点を含めた決議が採択されました。

- 一、経常費助成費等補助の大幅な拡充
- 一、ICT環境の整備と施設の耐震化・高機能化のための補助の拡充
- 一、私立学校保護者の教育費負担の軽減

## ハラスメント防止に向けた私学協会の取り組み



神奈川県私立中学高等学校協会は、ハラスメントの防止に向けて、教職員の安全を脅かす言動や教育活動への否定的干渉、長時間の時間的拘束など、学校での保護者によるハラスメントと判断される行為について例示し、3月下旬に防止の啓発のためのポスターを加盟校に配付しました。

## 教育功労者表彰

2025年11月12日(水) 県庁

おめでとうございます。他の模範となる特に顕著な功績をあげた次の先生方が教育功労者として表彰されました。私立学校教育の振興を図られた、私立学校の教職員、校長、園長、理事長及び設置者等が対象となります。

- 学校法人洗足学園  
洗足学園中学校 高等学校  
校長 宮阪 元子 先生
- 学校法人カリタス学園  
カリタス女子中学校 高等学校  
校長 萩原 千加子 先生
- 学校法人桐蔭学園  
桐蔭学園高等学校  
教諭 藤原 秀之 先生
- 学校法人関東学院  
関東学院小学校  
校長 岡崎 一実 先生



(後列) 斎藤 小学校協会会長 工藤 中高協合理事長  
(前列) 宮阪元子先生 萩原千加子先生  
藤原秀之先生 岡崎一実先生

## 2025年度下半期主な行事の出席

- 10月25日(土) 県高等学校総合文化祭開会式  
\* 県立音楽堂  
\* 飯塚副会長
- 11月5日(水) 私学振興全国大会  
\* 文京シビックホール  
(全役員)
- 11月10日(月) いじめ・暴力問題対策協議会①  
\* 私学会館  
(加賀美会長・飯塚副会長・庄司副会長)
- 11月17日(月) 神奈川県私立中学校・高等学校振興大会  
\* パシフィコ横浜国際会議センター  
(全役員)
- 11月21日(金) 青少年育成研修会 京都大会  
\* 聞法会館  
(加賀美会長・飯塚副会長・庄司副会長)
- 12月17日(水) いじめ・暴力問題対策協議会②  
\* 私学会館  
(加賀美会長・飯塚副会長・庄司副会長)
- 1月18日(日) 県高等学校総合文化祭閉会式  
\* 県立音楽堂  
(庄司副会長)
- 1月19日(月) 神奈川県私立中学新春のつどい  
\* ローズホテル横浜  
(全役員)
- 1月30日(金) 令和7年度第2回いじめ問題対策連絡協議会  
\* 県立総合教育センター  
(加賀美会長)
- 1月30日(金) 県交通安全対策協議会総会  
\* 開港記念会館  
(林山理事)

## 2026年度主な行事

- 4月29日(水・祝) 2026 神奈川県私立中高一覧 第21回神奈川県私立中高一覧展 \* パシフィコ横浜
- 5月12日(火) 2026年度監事会・会計監査 (会長・会計理事・監事)
- 5月22日(金) 2026年度定時総会・特別研修会
- 6月26日(金) 関東地区私学保護者会連合会理事会 \* 茨城県・水戸市
- 7月16日(木) 17日(金) 私学保護者会・研修会 \* 群馬県
- 7月20日(月・祝) 2026 神奈川県私立中高一覧 第27回神奈川県私立中高一覧展 \* パシフィコ横浜
- 8月28日(金) 関東地区私学保護者会連合会連絡協議会代表者会・研修会 \* 茨城県・水戸市

